

**神戸市・小売・日用品メーカー・リサイクラーが協働で、「水平リサイクル」を目指す
「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」**

**4 年間で約 7 トンの使用済みつめかえパックを回収、
再びつめかえパックに戻す「水平リサイクル」共同試作品で評価検討を開始**

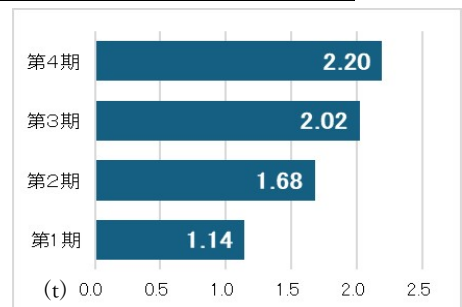
神戸市と小売・日用品メーカー・リサイクラーでつくる神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル プロジェクトチームは、神戸市内の小売店舗に回収ボックスを設置して日用品のつめかえパックを分別回収する「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」を実施しています。

この度、第 4 期（2024 年 10 月から 2025 年 9 月末まで）で約 2.2 トン、4 年間で累積 7.04 トンのつめかえパックを回収いたしましたので、活動実績と併せてご報告します。

■第 4 期のつめかえパック回収量は約 2.2 トン。市民啓発を強化、リサイクル傘も運用中。

2021 年 10 月からスタートした本プロジェクトは、神戸市と 17 社・団体が循環型社会の実現に向けて協働し、日用品の使用済みつめかえパックを分別回収して再びつめかえパックに戻す「水平リサイクル」（フィルム to フィルム）を目指しています。自治体と製造・販売・回収・再生に関わる複数の企業等が“競合”の垣根を超えて“協働”で「水平リサイクル」を目指す全国に先駆けた試みで、神戸市内の小売 74 店舗と施設 38 カ所に回収ボックスを設置しています。

4 期で回収したつめかえパックは重量約 2.2 トン。また学生や市民の皆様と連携したイベントや実績発表を多数行い、つめかえパックからリサイクルした傘をシェアリングサービスで運用、多くの市民にご利用いただいています。



神戸市内の小売店舗とエコノバ（資源回収ステーション）の回収量の合計

■2026 年 4 月から容器包装にも再生プラ使用義務化。参加企業が水平リサイクル品を共同試作。

2026 年 4 月 1 日より「改正資源有効利用促進法」が施行され、容器包装のプラスチック部材には再生プラスチックの使用が義務付けられます。これにむけて、日用品メーカーは再生プラスチックの利用計画を提出し、実績の定期報告が求められるようになります。第 5 期では、以下の取り組みを推進していきます。



《参加メーカーが水平リサイクルパウチ試作品の評価検討を開始》

水平リサイクルしたつめかえパックを製品化するためには、各社の様々な内容物での評価を実施し、実用上問題ないことが必要になります。水平リサイクルしたつめかえパックを様々な製品でお客様にお届けするため、参画メーカーの複数社が試作品の評価検討を開始します。

《パウチを含むプラスチック容器リサイクルの社会実装にむけたガイドライン検討》

包装仕様にとどまらず、回収方法・分別方法・企業/自治体による情報発信など、広範な要件に対し、神戸市での成果・課題を関係者に向け発信し、資源循環型社会のグランドデザインづくりに貢献していきます。

《アンバサダー制度を開始》

店舗従業員や本プロジェクトに積極的に関わる市民をアンバサダーに認定。コミュニティを通じた市民間の情報伝達により、神戸市内での認知度と参加率の向上を図ります。



【報道関係のお問い合わせ先】

神戸市環境局 井関・川上 TEL：078-595-6091（内線 955-3531）
神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル広報事務局（プランニング・ポート内）福嶋・井上 TEL：06-4391-7156
KOBE PLASTIC NEXT ホームページ <https://kobeplasticnext.jp/>

第4期の主な活動実績（2024年10月～2025年9月）

1) 神戸市内で回収したつめかえパックから「リサイクル傘」300本、「回収ボックス」100台を製造

フィルム to フィルムの技術を活用して、回収したつめかえパックの一部から「水平リサイクル」以外の活用も検討し、集まったつめかえパックを選別・粉碎・ペレット化、フィルムに再生、「リサイクル傘」「回収ボックス」を制作しました。

- ・「リサイクル傘」（傘シェアリングサービス「アイカサ」で運用）

神戸で回収したつめかえパックから再生樹脂を50%使用したフィルムに再生、傘の生地を制作。完成した300本の傘は、2024年12月10日から、神戸市内の「アイカサ」スポットで運用を行っており、これまでに多くの市民にご利用いただいています。

- ・「回収ボックス」

回収ボックス1台あたり約3.7kgのうち10%に、つめかえパック由来の再生樹脂を利用し100台製造し、2024年12月より、参加小売店舗に設置しています。



※この取組は、アマタホールディングス(株)が2023年8月に採択された内閣府の第3期戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の支援のもと実施しました。

2) 各種イベントでの啓発活動

- ・こうべ環境博覧会「かんぱく」への出展（2024年10月19日）

子ども達が参加した「リサイクル傘」の傘づくり体験を通じて、環境とプラスチックの資源循環について楽しく学ぶワークショップと、プロジェクトの実証結果を報告するセミナーに登壇。

- ・関西学院大学特別演習フィールドワーク（2025年6月7日）

関西学院大学がサステナビリティ分野の環境教育プログラムを提供するGreen Innovation (GI) と協働するPBL（課題解決型学習）として、学生達がつめかえパックのリサイクルを実施する、コープこうべや六甲リサイクルセター、エコノバなどを訪問し、つめかえパックのリサイクルの実際を学びました。



- ・廃棄物資源循環学会内の廃棄物計画研究部会（2025年9月19日/名古屋大学）で活動実績の発表

廃棄物資源循環学会（2025年9月17日～19日）の中で行われた廃棄物計画研究部会において、プロジェクトの実績と課題について報告しました。同部会と継続的に意見交換することで、循環経済への移行を促進するための廃棄物計画の新しい方法提案に貢献していきたいと考えています。

- ・ノエビアスタジアム神戸へのブース出展（2025年9月21日/INAC神戸）

神戸市が楽天グループとともに運営する「デコ活アクション in 神戸」と連携し、紹介ブースを出展。

つめかえパックリサイクルの認知度アンケートや、クイズ、つめかえパックの回収からリサイクルの流れを紹介しました。



第5期の主な活動予定（2025年10月～2026年9月）

1) 水平リサイクルパウチの共同試作

水平リサイクルしたつめかえパックを製品化するためには、各社の様々な内容物での評価を実施し、実用上問題ないことが必要になります。水平リサイクルしたつめかえパックを様々な製品でお客様にお届けするため、参画メーカーの複数社が試作品の評価検討を開始します。実証販売に先駆け、市民の皆様が試作品を手にとっていただけるイベントなど、回収の成果を実感いただける機会も予定しています。神戸市での経験を社会システムに反映するため、分かりやすい情報発信に努めます。

- ・2025年12月頃：試作品作製完了（つめかえパック由来の再生材料を原料の一部に含む）
- ・2026年1月～：各社で試作品を用いた評価試験の開始
- ・2026年夏頃：試作品を用いて市民啓発活動の実施（予定）

2) パウチを含むプラスチック容器リサイクルの社会実装にむけたガイドライン検討

包装仕様にとどまらず、回収方法・分別方法・企業/自治体による情報発信など、広範な要件に対し、神戸市での成果・課題を関係者に向け発信し、資源循環型社会のグランドデザインづくりに貢献していきます。

3) アンバサダー制度による活動

1. アンバサダー活動の促進

既参加者やエコノバ（神戸市の資源回収ステーション）利用者、店舗従業員など、すでに本プロジェクトに積極的に関わる市民をアンバサダーに認定し、市民アンバサダーによる情報発信や行動変容を促進するための広報資材（パンフレット等）や関連アイテムの作成を進めます。活動の魅力や意義を、市民から市民へ伝えることで、参加者のモチベーション向上と神戸市内での認知拡大・参加者獲得を図ります。

2. 再生材の活用

回収されたつめかえパック由来の再生材を用い循環の可視化を通じて、市民の皆様の理解と共感を促進します。

3. 市民アンバサダー座談会の開催

アンバサダーの皆様を対象とした座談会を開催し、本プロジェクトに関する意見交換を実施します。市民の立場からのご意見を伺い、行動や意識の変化を把握することで、今後の施策や広報活動の改善に活かします。

4) 各種イベントでの啓発活動

・ノエビアスタジアム神戸へのブース出展（2025年10月17日/ヴィッセル神戸）

神戸市が楽天グループとともに運営する「デコ活アクション in 神戸」と連携し、紹介ブースを出展。つめかえパックスリサイクルの認知度アンケートや、クイズ、つめかえパックの回収からリサイクルの流れを紹介しました。

・コープこうべ エシカルイベントへの出展（2025年11月15日）

コープこうべが主催する「地域つながるフォーラム 2025～エシカルで実現する持続可能なくらし～」へ出展し、つめかえパックスリサイクルを紹介。会場でもつめかえパック回収を行いました。

5) 5年間のまとめフォーラム開催（2026年9月予定）

神戸プラスチックネクストでは、日用品プラスチック包装容器の資源循環を推進し、つめかえパックスリサイクルが広がる社会の実現を目指しています。その一環として、成果や課題を積極的に発信していきます。関係者に向けては、業界団体などとの連携を通じ、プロジェクトの成果や課題などを共有します。生活者に対しては、環境学習やイベントを通じて本取組への理解を深めてもらい、協働の輪の拡大を狙います。また、本プロジェクトの成果発表を中心としたフォーラムの開催も検討したいと考えています。第5期を節目に、成果の活用に力をいれ、プロジェクトを次のステップへと進めます。

「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」概要 ※2025年11月現在

神戸市・小売・日用品メーカー・リサイクラーが協働し、日用品のつめかえパック（フィルム容器）を回収・リサイクルして再びつめかえパックに戻す「水平リサイクル」（フィルム to フィルム）に挑戦するプロジェクトです。2021年10月より、神戸市内の小売店舗に回収ボックスを設置し、洗剤やシャンプーなど使用済みの日用品のつめかえパックの分別回収をスタートしました。

自治体と製造・販売・回収・再生に関わる複数の企業等が“競合”の垣根を超えて“協働”でつめかえパックの「水平リサイクル」を目指す全国に先駆けた試みとして、意志を同じくする参画メンバーが協働し、市民の皆様へ呼びかけを行い、神戸から全国へ広がる活動とすべく取り組みを推進しています。

- 回収開始 2021年10月1日（金）
- 回収場所 神戸市内の小売店舗とエコノバ（資源回収ステーション）に設置された回収ボックス
※店舗詳細は HP に掲載 <https://kobeplasticnext.jp/next/tsumekaepackrecycle/>
- 参画メンバー（五十音順）
 - 【プロジェクト主体】 神戸市
 - 【小売】 4 社 ウエルシア薬局株式会社、生活協同組合コープこうべ、株式会社光洋、株式会社ダイエー
 - 【メーカー】 10 社 アース製薬株式会社、花王株式会社、牛乳石鹸共進社株式会社、クラシエホールディングス株式会社、株式会社コーセー、小林製薬株式会社、株式会社ファイントゥデイ（5期より新規参画）、株式会社ミルボン、ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社、ライオン株式会社
 - 【リサイクラー】 1 社 大栄環境株式会社
 - 【アドバイザー】 アミタホールディングス株式会社
 - 【事務局】 NPO 法人ごみじゃぱん
 - 【協力・連携】 クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）

■取り組みのポイント

<つめかえパックの回収> ～持続可能な回収スキームの構築～

- ① 小売 4 社の神戸市内の店舗と資源回収ステーション施設で回収。（全国最大規模）
目標は初年度 5 トン/年。（将来目標 10 トン/年）。
- ② 店舗への配送戻り便等を活用して集約し、収集の効率化、環境負荷を低減。

<つめかえパックのリサイクル> ～新しい循環経済のビジネスモデルを構築～

- ③ 日用品メーカー 10 社が、リサイクル試験を通じて課題や技術を共有し、「水平リサイクル」を目指す。
また、よりリサイクルしやすい、つめかえパックの素材や形状等を議論。
- ④ 水平リサイクルしたつめかえパックを製品として、市内店舗での実証販売を目指す。
- ⑤ アイデアを出し合い、市民の皆様へ還元する様々なリサイクル製品も検討。

